



えんじゅ

春日市立春日小学校
校長室便り No.1
平成31年4月10日
文責：校長 福島

新鮮な感動の日々

はじめまして。校長の福島隆幸と申します。

学校が変わると、すてきな子ども達の姿に新鮮な感動をもらいます。

昨日のことでした。夜7時過ぎ、周りは真っ暗です。私は宝町から学校に向かっていました。雨も落ちてきて傘を差して歩いていました。すると、「あっ、校長先生！」リュックサックを背負い自転車に乗った子が、わざわざ自転車を止めて声をかけてくれました。

「暗いによくわかったねえ。ありがとう。習い事ですか。」

「はい。」

「暗いから気をつけて帰るんだよ。」

「ありがとうございます。」

たわいもない会話ですが、その子のくりくりと輝く目やはきはきとした受け応えに嬉しい気持ちでいっぱいになりました。

私は、まだ何年生なのかも名前も分かりません。その子が、出会って2日の私に気づいてくれたこと、そのまま通り過ぎることもできたのに、わざわざ自転車を止めて声をかけてくれたこと、まだ心の中に温かさが残っています。

春日小の子ども達には、この話に象徴されるようなすてきな感性が育っていることを実感します。学校に文化として根付いています。いい教育がこれまで積み上げられてきた証拠です。

「春日っ子のためにがんばろう」新鮮な感動を子ども達からもらう日々です。

もし、これを読んで自分のことだと気づいた君がいるならお家の人に伝えてください。「これ、僕のことだよ」と。私は嬉しかったです。

「えんじゅ」よろしくおねがいします

「えんじゅ」というのは、運動場の東側にある木です。樹齢100年を超えるものと思われ、市の指定天然記念物です。漢字で「槐」と書き、魔除けや幸せを呼ぶという意味もあるそうです。「延寿」「縁授」と書くこともあり、いずれにしてもいい意味をもった木です。

私が感じたことや校長室から見えること等、書きたいことがあるときに不定期に書いていこうと思います。皆様の心に少しでも引っかかる内容があればと思います。学校便りのように大切な連絡を載せるものではありませんので、お気軽にご愛読いただければ幸いです。

